

山行報告書

山行報告者：北田

山域・山名：赤岩尾根		(埼玉県秩父市)
入山日又は期間：令和2年10月11日(日)		前夜発日帰り
プラン担当者 正：北田 副：		
参加者	L：北田 報：北田 今田 男2名、女名、計2名	
天候：晴れ		
10月31日 (土)	集合時間：午後8時	集合場所：上尾駅前 20時上尾発⇒23時頃落合橋駐車場着、テント、車中にて仮眠
11月1日 (日)	4：30起床 5：30落合橋⇒6：10ニッチツ住宅跡⇒7：20赤岩峠⇒7：50赤岩岳⇒9：00前衛峰⇒9：35 1,583m峰⇒10：20 P4⇒10：50 P3⇒11：10 P2⇒11：30 P1⇒12：00八丁峠⇒12：50落合橋	
装備と食糧	共同装備：ツェルト：北田、ロープ 30m：今田、20m：北田 車提供者：北田	
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ハーネス、ヘルメット、手袋、カラビナ、環付カラビナ、ヌンチャク(60cmスリング付き2本/人)、ATC、セルフピレイ、捨てスリング1.5m、ナイフ 個人食：昼食、行動食、非常食	
感想と要注意事項	<p>山と高原地図に「要ロープ」だの「キレット」だのと刺激的な言葉が並んでいて、以前から行ってみたいと思っていた山域についてやっと行くことができた。赤岩尾根は両神山の西側にある赤岩岳から八丁峠までの岩稜帯の尾根で、あまり人気はないらしい。</p> <p>前日夜に落合橋に到着すると車が2台、仮眠を取るころから続々と車が来て朝にはかなりの台数が停まっていた。</p> <p>身支度をして出発、ニッチツ社宅跡までは舗装路を下り適度に体が温まる。そこから赤岩峠までは樹林帯の急登で大汗をかきながらの登っていく。同じコースに行くのは男女混合3人パーティーだけ。赤岩峠で道具の確認やロープの準備をして赤岩岳へ。</p> <p>赤岩岳直下の大岩を左に巻き、ゴルジュ帯を通り抜け赤岩岳山頂へ上ると、先ほど出発した</p> <p style="text-align: center;">次ページへ</p>	

ニッチツ社宅跡がはるか下方に、木々の間から大ナグシがすぐ近くに見える。景色を堪能しつつよいよ核心へ突入、まずは前衛峰へ...

近づくにつれ、前衛峰といえどもそそり立つような岩壁で巻きコースと直登コースがあり、先ほどのパーティーは残置ロープ付きの巻き道へ、自分たちは少し迷った後直登を選択、今田さんにビレイしてもらいながらリードで登攀、緊張しながらもなんとか登り、支点を構築してセカンドで今田さんに登っていただいた。

ホッとする間もなく先を見るとこれまたニョキッと立ちはだかる 1583m峰、間のコルまで降り取付きに行くと、ネットで散見されたトラバース・直登用の残置ロープがすべて撤去されている。興ざめしてしまう残置がないのを喜びながら岩峰を右へトラバース、しばらく行って直登、岩がもろくグラグラしているホールドが多く緊張しながら登っていきなんとか峰頂へたどり着いた。ここからの眺めも良く、遠くは雪をかぶった北アルプス?まで見渡せた。

小休止の後 P4、P3、P2、P1 へと順に攻略していくが、小ピークが多く上り下りを繰り返す尾根縦走というよりも岩登りの連続のような感じであった。最後の P1 では歩いてきたギザギザの縦走路が一望できた。

その後やっと八丁峠にたどり着き、そこから駐車場までは 40 分ほどの下りだが、太ももがパンパンで笑いながら痛がっていた。

天気、眺望も絶好の日和で達成感 100%の登山ができた。今田さんお疲れ様&ありがとうございました。